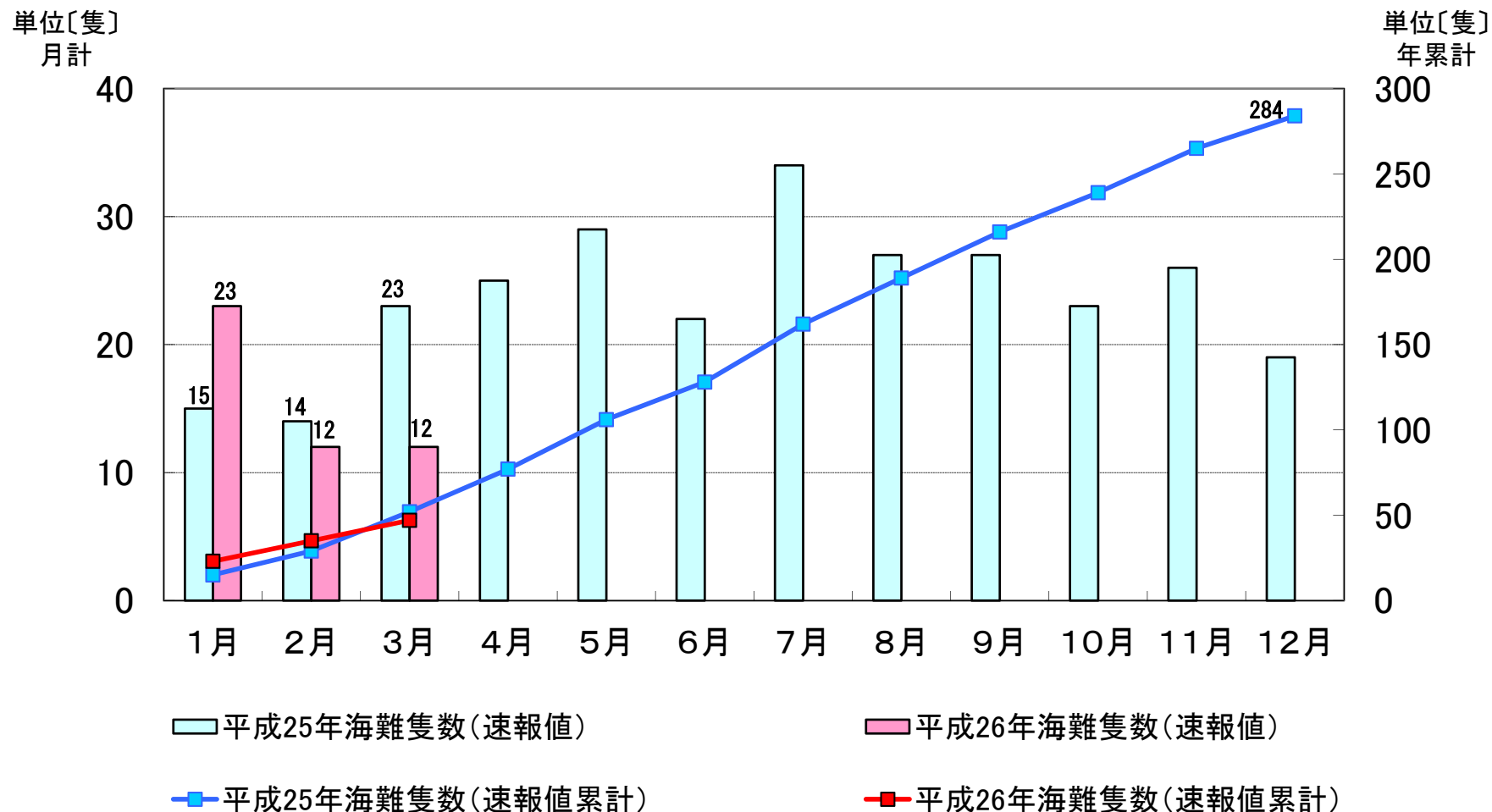


平成26年船舶事故発生状況

ア 事故隻数

平成26年3月中の船舶事故は9件12隻、前年（16件23隻）と比べて11隻減少となりました。

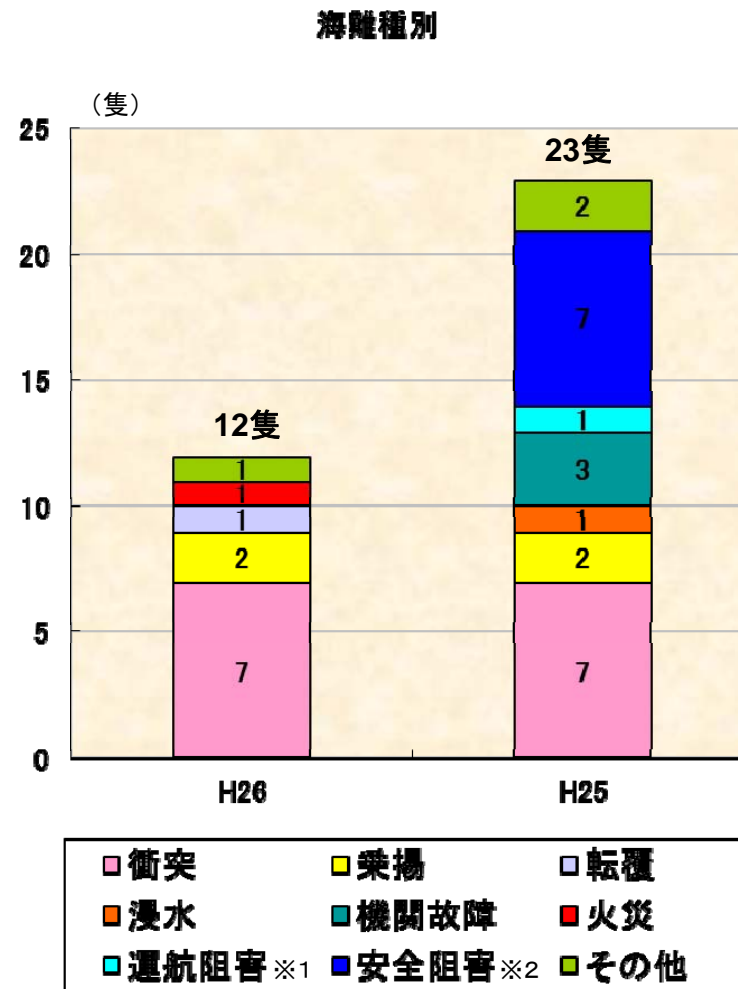
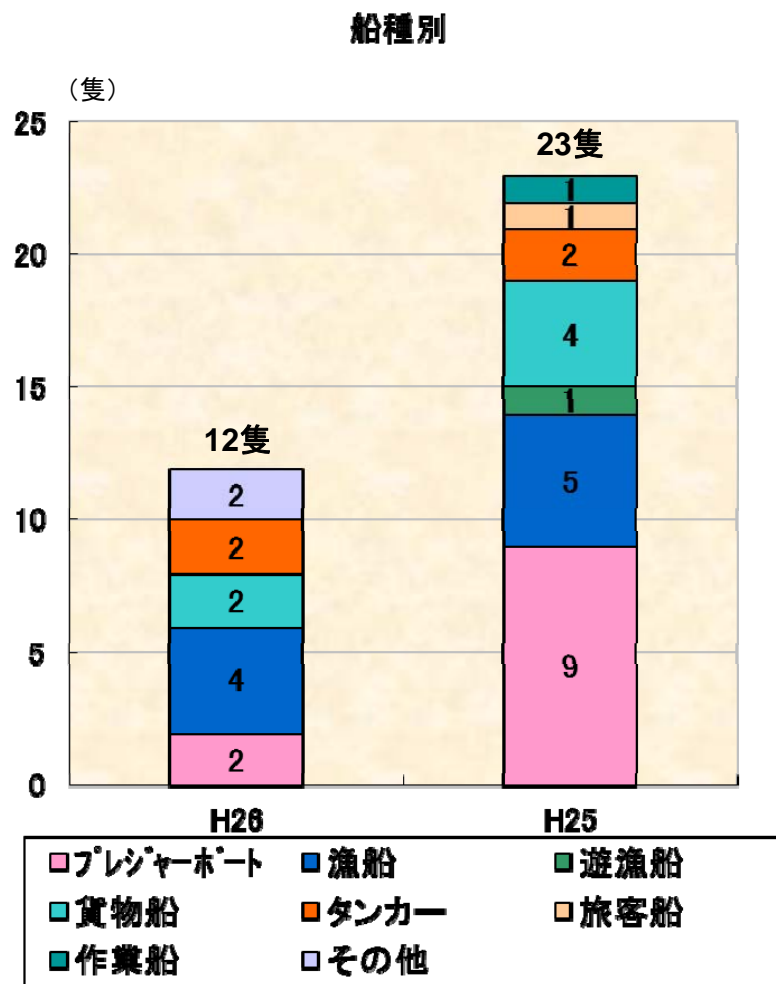
なお、死者・行方不明者は6名（前年2名）でした。



イ 船種別・海難種類別隻数

海難隻数は減少したものの、漁船の海難は昨年とほぼ変わりなく、4隻発生しています。

海難種別では衝突が7隻と最多で、約6割を占めています。原因は、居眠りや見張り不十分等によるものです。



※1 バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう。
 ※2 転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航をいう。

【平成26年3月】主な船舶事故事例



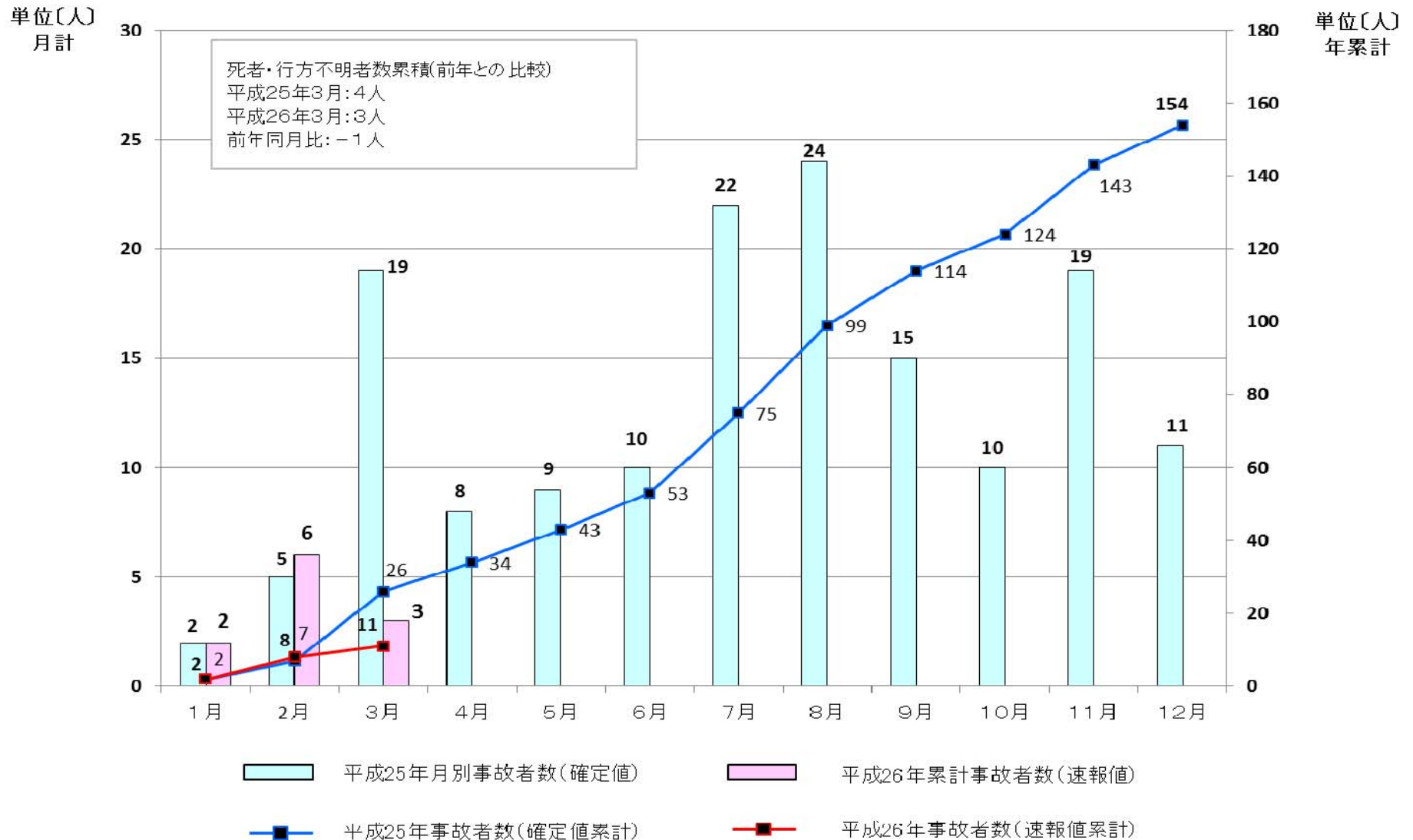
発生日時	平成26年3月2日午前10時40分
発生場所	室戸岬沖230海里
事故船舶	漁船 19トン 7名乗組み
概要	室戸岬南方230海里の海上で火災炎上。4名が死亡、2名が行方不明となっている。漁船は3月2日まで操業、4日に那智勝浦港に入港予定であった。 原因等調査中。

発生日時	平成26年3月26日午後8時頃
発生場所	播磨灘 家島北側
事故船舶	A タンカー748トン 6名乗組み B 貨物船699トン 5名乗組み
概要	Aは広島から姫路向け航行、Bは大阪から赤穂向け航行中、家島北側でAの船首がBの左舷船体に衝突。A、B両船各1名が打撲等の軽傷を負う。Bは沈没。 原因等調査中。

平成26年マリレジャー活動中の事故発生状況(H25年との比較)

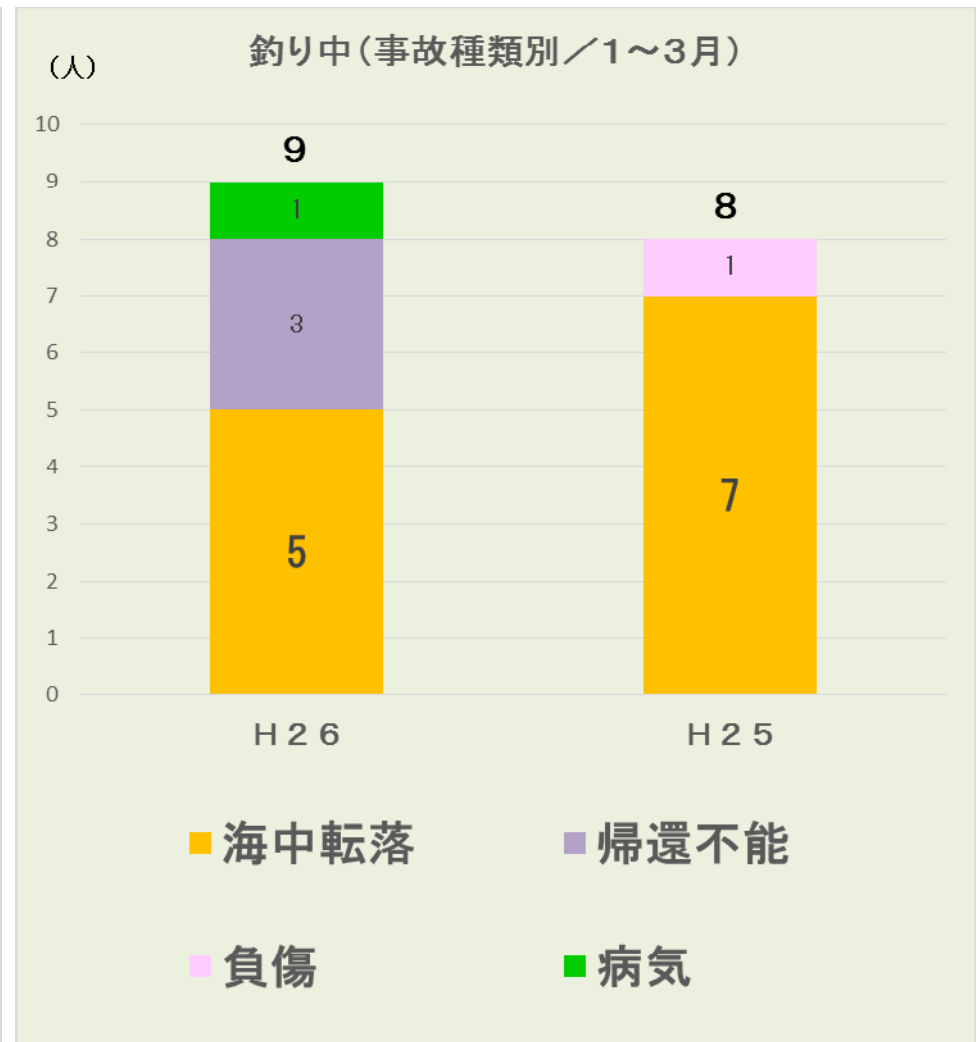
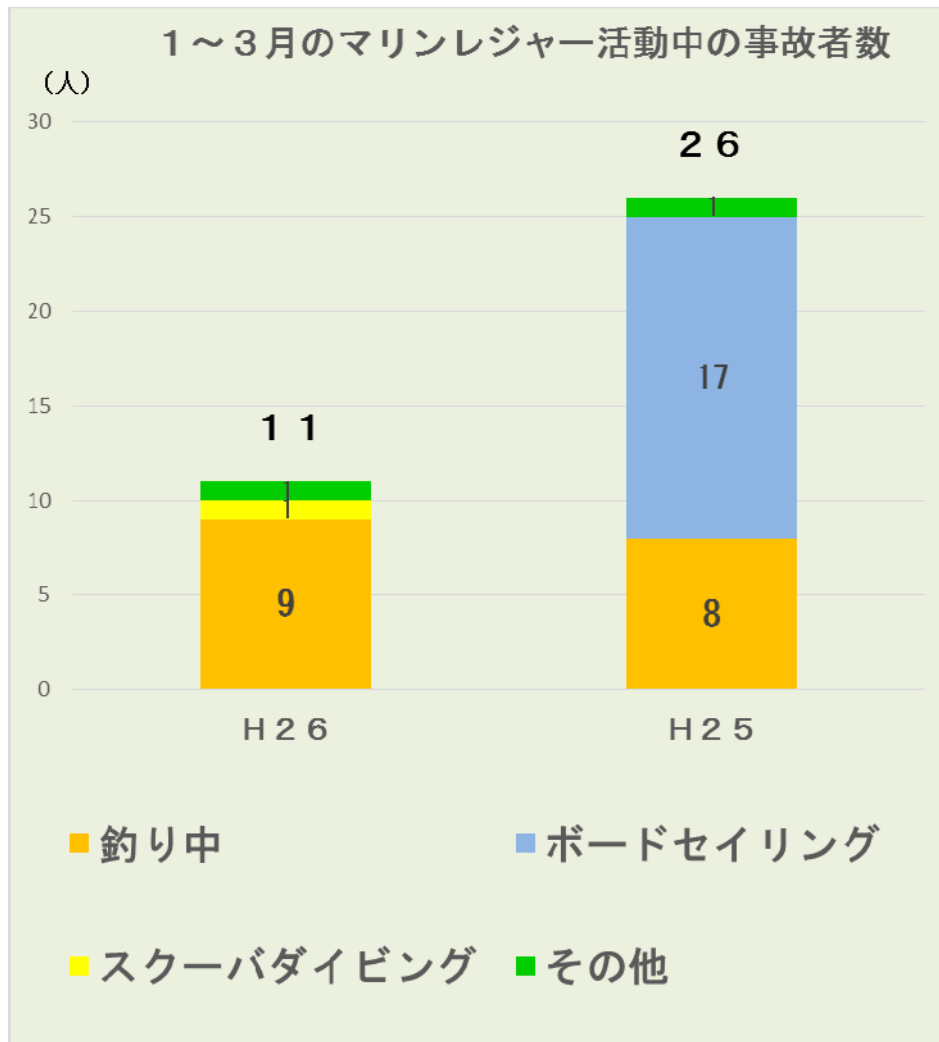
ア 事故者人数

平成26年3月のマリレジャー活動中の人身事故者数は3名、前年(19名)と比べて16名増加となりました。なお、死者・行方不明者はありませんでした。



イ 事故者人数

平成26年3月までのマリンレジャー活動中の人身事故者数は11名、前年（26名）と比べて15名増加となりました。死者・行方不明者は3名、前年（4名）と比べて1名減少となりました。釣り中の事故種類別では、海中転落が5人で最多、5人ともライフジャケットは未着用でした。



【平成26年3月】主な人身事故事例



発 生 日 時	平成26年3月21日正午ころ
発 生 場 所	兵庫県姫路市の姫路港沖合い海域
事 故 者	兵庫県姫路市在住 男性42歳
概 要	事故者は21日午前10時30分ころ、海水浴場に向かうため付近のボートパークから1人で出発したが、天候の急変による風速10メートル以上の風で沖に流され、陸岸に戻れなくなったもので、事故者からの118通報により巡視艇が出動し、無事救助されました。